

(別紙5)

整理番号 2019P-144
補助事業名 2019年度 障害者グループホームの建築 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人いづみ福祉会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ・「親亡き後」を見据えた障害者のための「終の棲家」の実現
- ・障害者の社会的、精神的自立（自律）と自分らしい生き生きとした地域生活の実現
- ・障害者の親（家族）のレスパイトケアの実現
- ・地域住民の障害に対する適切な理解と、障害者に対する人間的な理解及び交流の促進
- ・地域で生活する障害者を含む、福祉・医療・介護の連携体制が整備された「地域包括ケアシステム」の構築
- ・障害者を含む、住民の誰もが相互に人格と個性を尊重し合える、住みよい「地域共生社会」の実現

(2) 実施内容

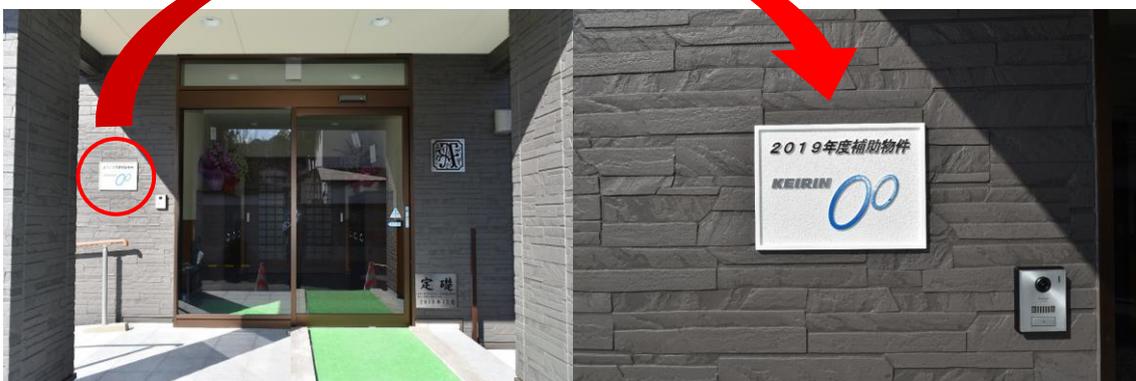
《障害者グループホームの建築》 (<http://yu-kari-s.com/info/>)

- ・共同生活住居名：グループホームふれんどA棟 ・定員：7名
- ・構造：木造平屋建て1棟 ・敷地面積：576.18㎡ ・延床面積：313.80㎡
- ・付帯設備：暖冷房設備 設置面積 248.50㎡
スプリンクラー設備 設置面積 276.65㎡
- ・初度調弁：カラーテレビ 1台・冷蔵庫 1台・洗濯機 2台・空気清浄機 3台



<建物の外観（東面）>

(別紙 5)



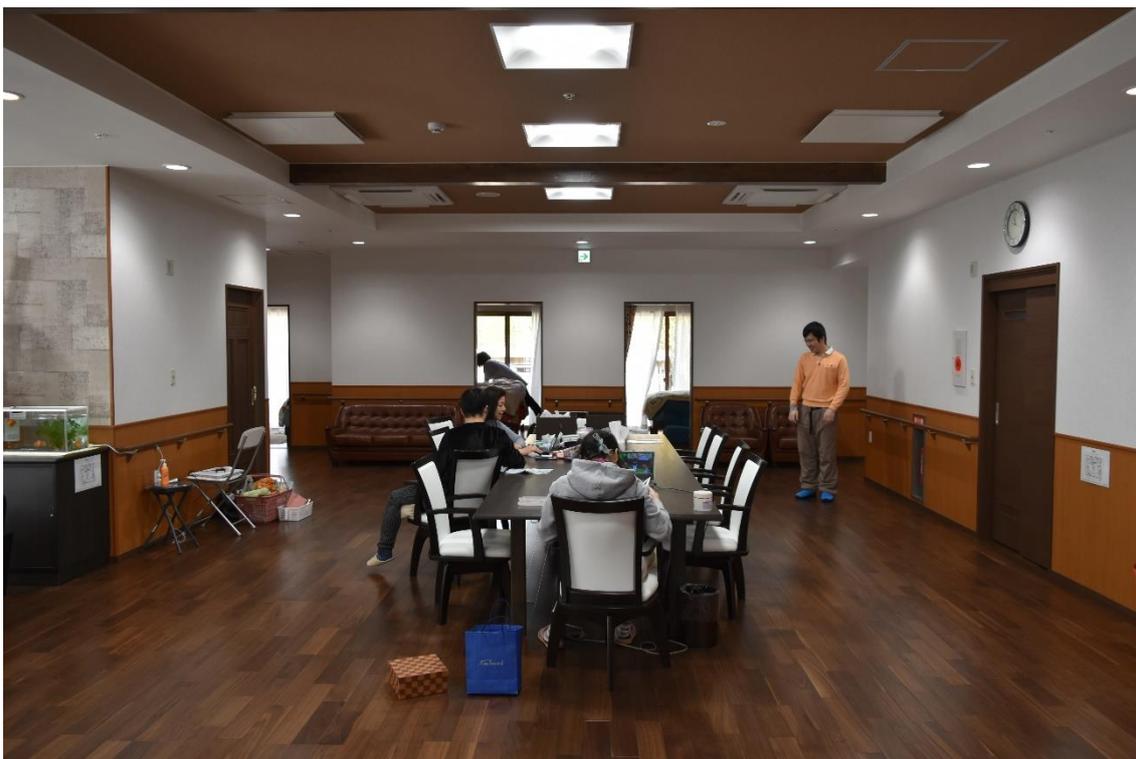
<正面玄関の標識表示>



<玄関ホール>

<居室>

(別紙 5)



<居間兼食堂>



<洗濯機（補助対象初度調弁）>



<竣工式>

2 予想される事業実施効果

短期的には、障害者が親元を離れ、地域社会の一員として、社会的、精神的な自立（自律）を目指し、自分らしく生き生きとした毎日を送ることができる障害者グループホーム及び地域社会の実現が、中期的には、障害に対する地域住民の適切な理解が浸透し、安心、安全で住民の誰もが相互に人格と個性を尊重し合える住みよい地域共生社会の実現が、そして長期的には、高齢化や障害の重度化が進んでも障害者が最期まで暮らし続けることのできる「終の棲家」としての障害者グループホーム及び地域包括ケアシステムが構築された社会の実現が期待される。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

グループホームふれんどA棟の完成チラシ (<http://yu-kari-s.com/info/>)

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人いづみ福祉会

住所：〒679-2323

兵庫県神崎郡市川町甘地宮ノ元535番の2

代表者名：理事長 小寺 義裕 (コテラ ヨシヒロ)

担当部署：社会福祉法人いづみ福祉会

担当者名：教山 晃祐 (キョウヤマ アキマサ)

電話番号：0790-26-2428

F A X：0790-27-9111

E-mail：yu-kari.s@yacht.ocn.ne.jp

U R L：<http://yu-kari-s.com/>